















練習を重ねた書道パフォーマンス(下も同じ)



中央大学書道會 HAKUMON Chuo 書展

白門祭

中大書展

白門祭(多摩キャンパス)期間中の4日間、図書館1階ギャラリーで恒例の「書展」を開催しました。来場者は500人を超え、大盛況となりました。

皆さま、ありがとうございました。



図書館1階ギャラリー

白門祭書道パフォーマンス



オープニング、袴、大字書、未知数、アート、 フィナーレの6チーム編成とし、夏休みから 練習しました。

音楽に合わせた躍動感のある書はパフォーマンスならではの魅力です。

本番は白門祭3日目、中央ステージで披露 する予定が雨天中止となってしまいました。 代わりにリハーサルの写真(誌面上、下)で ご覧ください。















書く楽しさ、見る楽しさ。誌上書展



◎創 「金木犀」

法学部2年 山本有華

秋といえば金木犀。この花の命はとても 短いですが、甘く強い香りは存在感があ ります。作品からそれを感じ取っていただ けたらうれしいです。



◎刻 「朱雀」

文学部2年 齋藤麻稀

5カ月間かけて仕上げました。大変ですが 完成した時の喜びは大きいので、刻字を今 後も続けていきたいです。



◎臨 趙之謙「急就章」

経済学部3年 神野朗宏

趙之謙の篆(てん)書は太さが均一の一般的な篆書と は違い、線の強弱の差が大きく、表現に苦労しました。 初の篆書は新鮮な気持ちで楽しく書けました。